

## 特別展示

# 本物のヨシさんの骨



### 19号人骨(ヨシ)発掘当時のエピソード

ヨシさんは昭和26年の発掘調査で発見された熟年女性で、この資料館の主人公でもあります。ヨシさんは右側に4個、左側に7個もの、サトウゴイで作られた美しい骨輪をはめていました。腰の両側には木がまかれており、出土したときの様子はあたかも両手で腰を隠して寝じろりような状態だったので、

この様子を見て、調査を担当していた若い学生達は想像力を大きくふくらませ、「これは若い女性に違いない!」と大いに盛り上がったようです。しかしヨシさんの骨を分析した人類学者の中山英司は、「最終でも三人は子供を生んだ熟女である」との鑑定結果を発表しました。学生たちは、想像した年齢と違う鑑定結果に驚いたことでしょうか、当時の雑誌『主婦』にエピソードとして今でも語り継がれています。